



つくば市立栄小学校

さかえ小 ニュースレター

Future Starts Here 栄小！ ～未来はここから～

No.18

R8.9.18

〔児童数〕237名

学校教育目標：認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

久しぶり！貴重な晴れ間に外遊び

夏休み明け、毎日のように雨が降り続いていましたが、今週14日(月)と17日(木)には貴重な晴れ間が広がりました。「外遊び、久しぶり！」「うれしい！」と、休み時間になるとたくさんの子供たちが校庭に向かい、たまりにたまったエネルギーを発散するかのように、青空のもとで元気に校庭を駆け回っていました。子供たちの様子から、教室で楽しく学習することも、外で元気に遊ぶことも、そのどちらが欠けても子供たちにとって楽しい学校にはならないことを実感しました。



みんながそろそろ気持ちいいね！ ～2年音楽～

15日(火)、2年生が、音楽で鍵盤ハーモニカ合奏に取り組んでいました。元気そうな音色に教室をのぞいてみると、リズムに合わせて鍵盤を追う子供たちの視線は、真剣そのものです。やればやるほど、少しのずれが気になります。「もう一回！」と繰り返していくうちに、少しずつみんなの音がきれいに重なっていきました。演奏が終わると子供たちの表情も緩みます。「みんながそろそろ気持ちいいね！」



パプリカの色は？ ～3年食育学習～

16日(水)、3年生を対象に、地域の野菜農家さんをお招きした食育学習が行われました。「パプリカには7色あります。それは、いったい何色でしょうか？」という農家さんからの質問に、驚きの声とともに子供たちの目が輝きました。答えは、赤、黄、オレンジ、緑、紫、茶、白の7色。パプリカ栽培の仕方や工夫、おいしい食べ方などのお話を聞かせていただくとともに、大きく実った色とりどりのパプリカを実際に見たり触れたりしながら、地域で育てられているパプリカへの興味関心が一気に高まったようです。



秋を感じる図書ホール ～月特集コーナー～

旧暦でいう秋の真ん中の8月15日に見える美しい月は「中秋の名月」と呼ばれ、この月を愛でる文化は時代とともに少しずつ変化しながら、秋を感じる素敵な風習として受け継がれています。この風習は中国の唐の時代に始まり、社会科で6年生が学習する「遣唐使」によって、平安時代に日本に伝わったといわれています。ちなみに、お月見と言えば「お団子」をイメージする方も多いと思いますが、「お月見にはお団子」の文化が広がったのは江戸時代、文化の中心が庶民になるにつれて、広くいきたようようです。

さて、図書ホールには、この時期に合わせて「月特集コーナー」があります。月に関する本や資料が集められ、子供たちは、興味をもってそれらの本や資料を手にとっていました。今年の「中秋の名月」は9月25日(金)とのこと、きれいな月をゆっくりと眺めながら、秋を感じてみてはいかがでしょうか。

